

7. 眼の疾患

文献

鶴浩幸、皇甫泰明、江川雅人、ほか. 百会穴の毫鍼刺激またはてい鍼刺激が視力と眼疲労に及ぼす影響. *東方医学* 2014; 29(4): 7-13. 医中誌 Web ID: 2014209322

1. 目的

毫鍼刺激と鍔鍼刺激の視力や眼疲労への影響の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (封筒法) (RCT-envelope)

3. セッティング

明治鍼灸大学、京都、日本

4. 参加者

日頃から疲れ目を感じ、屈折異常以外に特別な疾患を持たない成人ボランティア 30 名
60 眼 (平均年齢 23.8±3.8 歳)

5. 介入

Arm 1: 百会毫鍼群 10 名 20 眼。ステンレス製鍼灸針 (直径 0.16mm、セイリン社製) を百会穴(GV-20)に 10mm の深さまで横刺で刺入した後、10 分間置鍼。
Arm 2: 百会鍔鍼群 10 名 20 眼。真鍮製のばね式鍔鍼 (KN-412、カナケン製) を百会穴 (GV-20)に心地よい程度の強さで 10 分間の圧刺激を行った。
Arm 3: 対照群 10 名 20 眼。百会穴に鍼管のみを軽く当て、鍼管上部を数回タッピングした後、直ちに鍼管を取り除き、10 分間の安静仰臥位を保った。

6. 主なアウトカム評価項目

ランドルト環を用いた自覚的視力検査 (測定距離 5m) による、裸眼視力と矯正視力。眼疲労の程度に対する Visual analogue scale (VAS)。

7. 主な結果

裸眼視力より、前後比較では百会鍔鍼群で有意に向上し(P<0.01)、群間比較では百会鍔鍼群で対照群と比較して有意に向上した(P<0.05)。矯正視力より、前後比較では百会毫鍼群と百会鍔鍼群で有意に向上し(P<0.01)、群間比較では百会毫鍼群と百会鍔鍼群が、対照群と比較して有意に向上した(P<0.05)。VAS より、前後比較では百会毫鍼群と百会鍔鍼群で有意に改善し(P<0.05)、群間比較では有意差が認められなかった。

8. 結論

毫鍼刺激と鍔鍼刺激により視力は向上したが、眼疲労に対する効果は限定的であった。

9. 鍼灸医学的言及

鍼刺激により縮瞳が生じ、ピンホール効果によって視力改善。

10. 論文中の安全性評価

有害事象はなかったとの記載あり。

11. Abstractor のコメント

本研究は鍔鍼を用いた臨床研究で非常に興味ある結果となった。これまで鍼治療による視力及び眼疲労改善効果は先行研究において示されてきたが、本研究では、鍔鍼にて特定の経穴(今回は百会)を治療することで鍼治療同様の効果が得られることが示唆された。これは軽微な刺激が特徴的な日本鍼灸の有効性を表現する結果となり得る。しかしながら、本研究では統計学的記述はなされているものの、効果量が示されておらず、臨床的にどれほどの意味合いを持つかが明らかでない。眼科領域における効果量を先行研究などから算出し、この領域での効果量の目安を設定した上で本研究における効果量を比較することによって臨床的な効果の大きさが表現されると考える。今後そのような改善がなされることを期待する。

12. Abstractor and date

保坂政嘉、大川祐世 2016.10.5